



5月 工場見学会



7月 座学



9月 A7行A7検討会



11月 作品作り



12月 窯出し

一年間に渡りお疲れ様でした。  
作品を前にして皆で語り合いました。

## 第5回 鬼瓦ワークショップ —コミュニケーションの場に

主催 (公社) 日本インダストリアルデザイナー協会  
共催 高浜市やきものの里 かわら美術館  
三州瓦工業協同組合  
高浜商工会

日時: 2015年2月7日(土) 出品者は10:30集合し展示準備 13:30~15:30 意見交換会

場所: かわら美術館1F スタジオ

内容: 皆さんの作品を前にして鬼師さんを交えて皆で語り合います。

展示要領: JIDAメンバーは作品とA2サイズ 貼れハネ5mm厚1枚でコンセプトを表現して下さい。

JIDAメンバー以外の方はできる範囲で結構です。

会費: JIDA会員・学生 ¥ 700 (西尾特産煎茶+高浜名産お茶菓子付)

一般 ¥1000 (西尾特産煎茶+高浜名産お茶菓子付)

申し込み先 : JIDA中部ブロック事務局  
FAX 052-722-2207 もしくは  
メール: atdseiko@crest.ocn.ne.jp

高浜市やきものの里 かわら美術館  
TEL: 0566-52-3366  
愛知県高浜市青木町九丁目6番地18  
駐車場 第三駐車場をご利用下さい。無料

申込締切 : 2月1日

### 見学会申し込み書(鬼瓦ワークショップ)

氏名	所属(必須) 当日緊急の連絡先	
		<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 学生
		<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 学生
		<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 学生

# 鬼瓦ワークショップ シリーズ全5回

## 第一回 工場見学 5月24日(土)10:00~15:30

瓦の基礎知識を習得します。量産瓦工場、小ロット量産工場、手作り鬼瓦工場の三様のものづくりの現場を訪ね、瓦産業について学習します。かわら美術館では瓦の歴史や瓦産業の概要についての説明を受け、瓦についての見識を深めます。講師:かわら美術館 若松文一氏 三州瓦工業協同組合 鈴木幸利氏

会費 JIDA会員・学生 ¥2000(B-1グランプリ出品 鶏めし弁当代込み)  
一般 ¥3000(B-1グランプリ出品 鶏めし弁当代込み)

## 第二回 座談会 - 鬼瓦の魅力 7月19日 13:30-15:30

長年 瓦作りに携わってこられた職人さんから鬼瓦の特徴や現状を伺い、フリーディスカッションを通して“創造の種”を発見しましょう。講師:鬼師 服部秋彦 かわら美術館 金子智氏

会費 JIDA会員・学生 ¥700(西尾特産煎茶+高浜名産お茶菓子付)  
一般 ¥1000(西尾特産煎茶+高浜名産お茶菓子付)

## 第三回 アイデア検討会 - 鬼瓦の新しい魅力づくり 9月27日 13:30-15:30

前2回の勉強会を踏まえ、皆さんのアイデアスケッチを持ち寄っていただき、鬼師さんから焼成時に起こる問題点を指摘してもらい実際の作品作りに活かします。

会費:JIDA会員・学生 ¥700(西尾特産煎茶+高浜名産お茶菓子付)  
一般 ¥1000(西尾特産煎茶+高浜名産お茶菓子付)

## 第四回 ワークショップ - 創造の種を立体に 11月22日(土)9:30-11:30

かわら美術館 陶芸創作室で鬼師のサポートを得てアイデアを実際に製作します。作品は後日 鬼師さんにいぶし銀に焼き上げていただきます。作品は25cm立方体以内の大きさとする。

会費 JIDA会員・学生 ¥3000(陶芸創作教室利用料、材料費込み)  
一般 ¥3500(陶芸創作教室利用料、材料費込み)

## 第五回 作品展示会 - コミュニケーションの場に 2月7日13:30-15:30

完成した作品を展示します。来場された皆さんとの会話から鬼瓦の新しい魅力が花開くような発表の場にしましょう!

会費:JIDA会員・学生 ¥700(西尾特産煎茶+高浜名産お茶菓子付)  
一般 ¥1000(西尾特産煎茶+高浜名産お茶菓子付)

日本最大の生産量を誇る三州瓦

三州瓦は、愛知県西三河地方の旧国名「三河」を意味する「三州」を冠にした、粘土瓦のことをいい、石州瓦、淡路瓦と並ぶ日本三大瓦のひとつです。同時に、日本最大の生産量を誇っています。高浜市で瓦が作られるようになったのは、およそ300年前。瓦に適した粘土が掘れたことや、船便による運送が容易な場所であったことなどで、瓦産業が発達したといわれています。

三州鬼師の技が光る「鬼瓦」

鬼師の技が光る鬼瓦は、和式建築物の棟の端などに設置される板状の瓦の総称で、厄除けと装飾を目的とした役瓦のひとつです。三河地区で採取される三河粘土を使い、鬼師の技術を徹底的に追求した手造りの鬼瓦は、見事なものです。

高浜の鬼師たちは、知恩院や平安神宮、天竜寺、熊野神社などの神社仏閣をはじめ、歌舞伎座や彦根城など、全国で活躍しています。